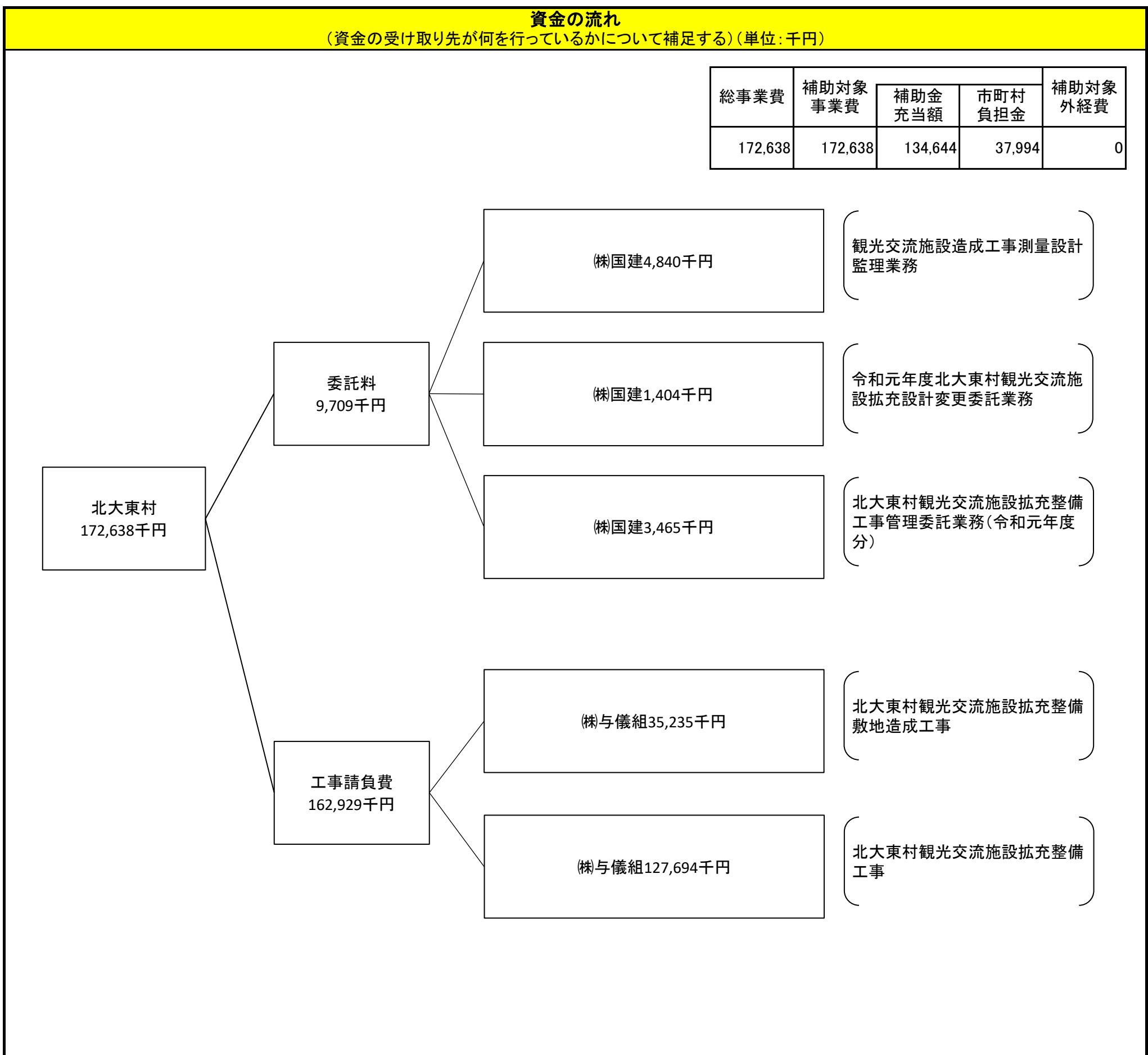


市町村名	北大東村						
<b>令和元年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート</b>							
事業名	観光交流基盤整備事業	事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他				
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成29年度～令和2年度				
事業内容	村所有の宿泊施設ハマユウ荘の新館を整備する。						
先導性に係る取組	<input checked="" type="checkbox"/> 自立性 <input type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input checked="" type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	31,342		173,000		
		(b) 予算現額	31,342		173,000		
		(c) 増減額(b-a)	0		0		
		(d) 繰越額	-		-		
		A. 計(b+d)	31,342		173,000		
	B. 執行済額		30,024		172,638		
	うち補助金充当額		24,019		134,644		
	次年度繰越額		0		0		
	執行率(%) (B/A)		95.8%		99.8%		
予算の状況の説明		当初の計画どおり新館の整備工事の一部を実施し、事業は適正に執行できた。不用額362千円については、委託料の執行残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	新館の整備工事の一部実施		目標 (基本・実施設計の完了1件)	( - )	( 1件 )	( - )	
		実績	基本・実施設計の完了1件	-	1件	-	
達成状況説明		○当初の計画通り、整備工事の一部を行い、令和2年3月に完了した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(H29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R7年度)
	年間観光入込客数		目標	( - )	( - )	( - )	( 4,500人 )
			実績	954人	1,027	-	-
	成果目標(指標)		基準値(H29年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R3年度)
	新規雇用の増加		目標	( - )	( - )	( 7人 )	( 7人 )
			実績	0人	1人	-	-
進捗状況説明		○入域観光客数については、前年度から増加(+73人)した。 ※島の観光入込客数は沖縄県地域・離島課の「離島関係資料」の公表時期の関係上、直近の数値は平成30年度(平成30年3月～平成31年2月)である。 ○平成29年度に同補助金の別事業(農・福・観連携6次産業推進活性化事業)にて実施した就業体験参加者のうち、1人が移住し、体験した企業(ハマユウ荘従業員として)へ就職した。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「年間観光入込客数」</li> <li>・那覇と本村を結ぶ航空機座席の増加や鉱山遺跡が国の史跡に指定されるなど、村を訪れる観光客は増加すると予想されるが、島内の宿泊施設は限られており、供給不足が課題となった。</li> <li>○「新規雇用の増加」</li> <li>・今後新たな雇用を生み出すにあたり住宅不足が課題となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「年間観光入込客数」</li> <li>・宿泊施設の機能強化・拡充整備を行い収容能力を増加することが必要。</li> <li>○「新規雇用の増加」</li> <li>・同補助金の別事業で定住住宅を整備する予定であることから、あらかじめどのような人材が必要なのかリストアップすることが必要。</li> </ul>
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「年間観光入込客数」</li> <li>・引き続き観光交流基盤として宿泊施設を整備する。</li> <li>○「新規雇用の増加」</li> <li>・(株)黄金山が主体となって、人材確保する体制づくりを行う。</li> </ul>		



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託料及び工事請負費については指名競争入札を行っており妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	委託料の積算については、3者見積によるものとなっており妥当と考える。また、工事請負費については実施設計によるものとなっており妥当と考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。